

プロジェクト中間報告会とチャレンジセンターセミナーを開催しました



チャレンジセンターでは、2010年度のプロジェクト中間報告会を10月16日に湘南キャンパス松前記念館講堂で開催しました。当日は、9つのキャンパス(札幌、旭川、高輪、湘南、伊勢原、沼津、清水、熊本、阿蘇)をテレビ会議システムで結び、約300名の学生が参加。本センターの教育目標である「集い力・挑み力・成し遂げ力」を踏まえて、13のプロジェクトの代表者が上半期における活動内容や反省点、今後の活動予定などを発表しました。

学生の発表に先立ち、チャレンジセンターの大塚滋所長(法学部教授)が「今年は各発表の後に質疑応答の時間を設けました。半年間の活動報告と同時に、課題点なども報告し合い、共に学び共に高めあって、今後の有意義な活動につなげることを期待します」とあいさつ。続いて、「福祉」「ものづくり」「地域活性」「アート・学習支援」「環境・農業」の活動テーマごとに各プロジェクトから発表がありました。

質疑応答では、「メンバー同士のコミュニケーションはどうしたらうまくいくのか」、「スキルアップは、どのようなことを目標にしているか」、「子どもに分かりやすく説明するための工夫について」、「広報活動をどのようにしていけばいいか」など、各プロジェクトに共通した問題点について、キャンパスを越えて活発な意見交換が行われました。

また当日は、学生運営スタッフ企画、運営による第7回チャレンジセンターセミナー「ターニングポイント～未来と今がつながる時～」も開催。産業カウンセラー・キャリアカウンセラーとして活躍中の水野秀則氏(有限会社フューチャサポート代表取締役)を講師に招き、社会人にとって必要なコミュニケーションについて講演していただきました。テレビ中継を通じて各キャンパスで参加した約130名の学生らは、2人1組になって自己紹介をはじめとする実際の対話を進める中で、自分の弱点を点検。水野氏は本学の教育目標である「集い力・挑み力・成し遂げ力」のそれぞれに沿って、社会人として要求されるコミュニケーション力を分かりやすく紹介するとともに、具体的なアドバイスを提示しました。

